

研究テーマ	[I 素材（材料や用具，場所など）と出会い，かかわること] 材料や場所をもとに発想を広げ，進んでにかかわり合う態度を培う学習指導の工夫 — 小学校第6学年「つないでつるして～ひらひらきらきら～」の実践を通して —
-------	--

かすみがうら市立下稲吉小学校 教諭 片岡 延寿

1 研究テーマについて

小学校学指導要領解説の図画工作編には、「材料」や「場所」に関して，高学年では，「具体的な特徴」をとらえながら活動することが示されている。具体的な特徴とは，中学年までの「形や色」，「質感」だけでなく，切ったり，組み立てたりというような加工できる「材料の特質」や光や風などの「環境」，そして，「人の動き」や「場所の様子」などのより細かなものが示されている。

こうした材料や場所の具体的な特徴を自分なりに感じ取りながら発想を広げ「周囲の様子」に合わせたり，「空間の奥行き」に合わせたりしながら材料を配置し，選択し，組み合わせることは，高学年ならではの活動として大切なことと考える。さらに，児童が材料や場所に積極的に働きかけることによって児童と対象との関係を深めることも大切だといえる。

これをふまえ，本学級（6学年）の児童の実態をみってみる。本学級の児童は，これまでに造形遊びの材料として，新聞紙，ダンボール，光（ライト）などを扱ってきている。また，場所としては教室の中での活動を行っている。これまでに，素材をもとにした造形遊びを，あまり経験してきていないといえる。

意識面のアンケート調査では，15名中14名の児童が図工の時間が楽しいと答えている。楽しい理由としてあげられたのは，「絵を描くのが好き。8名」「ものをつくるのが好き。10名」「好きなものがつくれる。6名」であった。また，「自分なりの考えを生かして作ることが得意」という設問には，「得意。6名」「どちらかといえば苦手。9名」という答だった。このことから，活動自体は楽しく行えるが，自分なりの発想を生かしていろいろと試してみるのには，苦手としている児童が多いということがいえる。実際に図工での活動の様子を観察していると，友達と同じ題材や材料を選択することが多く見られる。

そこで，材料や場所に楽しくかかわる中で，自分なりの発想を自由に広げ，自信をもって造形活動ができるようになるためには，どのような学習指導の工夫をすればよいのかをテーマとした。

2 ねらいに迫るための手だて

(1) 材料と場の工夫

基本的な材料は，自由な発想をすぐに試すことができるもの，風や光，奥行きなどを感じられるものとして，カラービニール袋，養生シート，ビニールテープ，防鳥テープなどを用意しておく。さらに，つくりながら他の材料を試してみたくになったら，使ってよいこととする。

そして，それらの材料を組み合わせ，いつも見慣れている，庭のサルスベリ，桜，イチョウなどの樹木や登り棒，ジャングルジム，鉄棒などの遊具を飾り，空間を変化させることを楽しむ中で，自由にイメージを広げさせたい。

(2) 学習過程の工夫

実態から考えると，造形遊びの経験が少ないために空間を飾るというイメージが持ちにくいと思われる。そこで，導入では野外彫刻やランドアートの作品を鑑賞し，空間を飾るというイメージをもたせたい。

その後で，材料を提示しどんなことができるか考えさせる。その際に，野外に出て行って光や風を感じながら材料の特徴をとらえさせたい。また，結んだり，つないだり，つり下げたり，切ったり，丸めたりと加工の仕方もいろいろと試させるようにしたい。

十分に材料と触れ合った後に，場所決めどのようにその場所を変化させるか考える。空間をダイナミックに変化させ，楽しさを味あえるようにグループで活動させる。友達とかかわり合いながら，つくり，つくりかえ，つくる活動ができるようにしたい。

最後に，できあがった作品の鑑賞会を行い，お互いの取り組みの良さを認め合う。

(3) 学習カードの工夫

グループで活動すると全員の意見が作品に反映されない場合も考えられる。そうならないために，学習カードを工夫し，一人ひとりの考えがどのように作品に反映されたかを見えるようにする。

まず，自分たちが選んだ場所の写真に，どのように空間を飾るか，それぞれがアイディアを考えメモする。次に，それぞれのアイディアを持ち寄りグループで，どのような作品をつくるか話し合う。その際に，全員のアイディアを盛り込むようにさせる。そして，学習カードに，その記録が残るようにする。これにより，一人ひとりが進んで場所や材料にかかわり合うことができるようにする。

3 実践例

(1) 題材 つないでつるして ～ひらひらきらきら～

(2) 目標

○場所や空間の特徴を生かして表すことで、その場所が今までとは違う見え方をすることに興味をもって活動している。
(造形への関心・意欲・態度)

○材料や場所の特徴を生かして発想し、自分の表したいことが見つけることができる。

(発想や構想の能力)

○風や光を効果的に取り入れたり、空間を生かしたりしながら工夫して表すことができる。

(創造的な技能)

○構成の美しさや楽しさなど、自分や友だちの考えのや表現のよさを感じることができる。

(鑑賞の能力)

(3) 指導と評価の計画 (6時間扱い)

時	学習活動	指導上の留意点	具体的評価規準と評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> ・野外彫刻やランドアートの作品を鑑賞して空間の変化のさせ方をつかむ。 ・材料をもって屋外に出て、何ができるか試す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を鑑賞する中で、気づいたこと感じたことを発表させ、これからの活動の見通しをもたせる。 ・材料の特徴や場所や環境の特徴に気づくように十分な活動時間を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・材料や場所、環境をもとに切ったり、結んだり、つないだり丸めたり、包んだり、何ができるかいろいろと試している。 [観察・発表]
2 3	<ul style="list-style-type: none"> ・風や光、場所の雰囲気を感じながらテープやシートでいろいろと試し、場所を決める。 ・それぞれのアイデアを出し合いグループでどのようにするか話し合う。 ・話し合ったことをもとに材料を準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いついたことを友だちと共有するように声をかける。それをもとに話し合い、場所を決めるようにアドバイスする。 ・場所が決まったらワークシートを使い、それぞれのアイデアをメモさせる。 ・それぞれのアイデアを生かしてグループの作品をつくるように声をかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・材料や場所、環境とかかわり、試行錯誤しながら表したいことのイメージをふくらませている。 [観察・ワークシート]
4 本時 5	<ul style="list-style-type: none"> ・活動する中で思いついたことや、新しい気づきを取り入れながら自分たちのイメージをもとにつくっていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・遠くから見て形を考え直したり、付け加えたりするようにアドバイスする。 ・友だちと意見を交換しながら初めのアイデアに固執することなく、新しいアイデアを付け加えてつくって、よいことを助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・風や光を効果的に取り入れたり、空間を生かしたりしながら、材料のよさや特徴を生かして工夫して表している。 [観察・作品]
6	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞会を開き、お互いの取り組みのよさを認め合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの取り組みや表現のよさを認め合えるように、クラスで鑑賞会を開き感想を伝え合う。さらに、他学年を招待して、自分の表現に対して評価をしてもらうことで、これからも進んで表現の可能性を追求しようとする意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・構成の美しさや楽しさなど、自分や友だちの考えのや表現のよさを感じとり、それを伝え合っている。 [発表]

(4) 本時の学習

① 本時の目標

○友達と協力して、風や光を効果的に取り入れたり、空間を生かしたりしながら工夫して表すことができる

② 展 開

時間	児童の学習活動・内容	〈学習形態〉 資料	支援・指導上の留意点 (※は個への手だて, ○は評価)
0	1 本時の学習活動の内容を知る。 気に入った場所を, きらききらひらひらかざろう。	〈一斉〉 ワークシート	・ワークシートを使い, 学習の計画を立てるとともに見通しをもたせる。
5	2 友達と協力して, 気に入った場所をかざる。 ・ビニール袋を結んで, ひも状にしてつなぐ。 ・ビニールテープを蜘蛛の巣のように張り巡らす。 ・枝に, いろいろな長さの防鳥テープを結び風でひらひらさせる。 ・養生シートでジャングルジムを包む。	〈グループ〉 カラービニール袋 ビニールテープ 養生シート 防鳥テープ	<ul style="list-style-type: none"> ・材料をうまく生かしている児童や, 場所や環境の特徴を考えながら活動している児童を取り上げ, そのよさを具体的に賞賛するとともに全体に広めるようにする。 ・グループでの活動がスムーズにいかない場合は, その原因をよく話し合っ解決するよう助言する。 <p>※表現の可能性に気付いていない児童には, 互いの取り組みのよさなどを話し合う場を設けるなどして, 多様な表現に触れることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠くから見て形を考え直したり, 付け加えたりするようにアドバイスする。 ・友だちと意見を交換しながら初めのアイデアに固執することなく, 新しいアイデアを付け加えてつくって, よいことを助言する。 ・高いところに無理をして, 結んだりしないように, 安全には十分留意する。 <p>○風や光を効果的に取り入れたり, 空間を生かしたりしながら, 材料のよさや特徴を生かして工夫して表している。</p> <p>A: 風や光の効果を考えたり, 空間を生かしたりしながら, 自分アイデアを積極的にだして工夫して表している。</p> <p>B: 友だちと協力して, 風や光の効果を感じたり, 奥行きを感じたりしながら表している。</p>
40	3 本時の学習を振り返り, 次時の学習の見通しをもつ。 ・本時の作業の進み具合と次時の作業を考え発表する。	〈一斉〉	<p>※Bの状況を目指す児童には, つくっている作品を見ながら, そこから感じることを引き出していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カードを使い本時の反省と次時の作業予定を確認させる。
45			

4 成果と課題

(1) 成果

- 基本的な材料としてビニールテープ、カラービニール袋、養生シート等を自由に選ばせた。それらの材料は容易に切ったり、結んだり、貼り付けたりすることができるものだったので空間に対して意欲的に働きかけることができた。



- 導入で野外彫刻やランドアートの作品を紹介した。そのため、具体的に活動の内容をイメージすることができた。さらに、グループで活動することで話し合いながらイメージをふくらませ具現化することができた。



(野外彫刻の作品)



